



## 平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月11日

上場取引所 東

上場会社名 コーセル株式会社  
 コード番号 6905 URL <http://www.cosel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月30日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 福村 恵一  
 (氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8149

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年5月21日～平成25年8月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	5,129	14.3	885	26.1	898	17.4	546	16.6
25年5月期第1四半期	4,489	△21.0	702	△44.2	765	△41.9	468	△40.3

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 469百万円 (15.3%) 25年5月期第1四半期 406百万円 (△38.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	14.12	—
25年5月期第1四半期	12.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	37,725	35,387	93.8	914.79
25年5月期	38,017	35,305	92.9	912.66

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 35,383百万円 25年5月期 35,301百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年5月21日～平成26年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,670	8.4	1,540	16.9	1,620	14.4	990	25.7	25.59
通期	19,750	12.4	3,510	44.1	3,650	38.0	2,280	50.7	58.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期1Q	39,012,000 株	25年5月期	39,012,000 株
26年5月期1Q	332,617 株	25年5月期	332,532 株
26年5月期1Q	38,679,408 株	25年5月期1Q	38,779,323 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融政策とともに政府の経済政策への期待感等から、円安・株高が進行し、企業収益は改善の方向に向かい始めたものの、实体经济の回復までには至らない状況で推移いたしました。また、ヨーロッパ債務危機問題の長期化によるヨーロッパ経済の低迷が世界市場の停滞につながり、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループが属するスイッチング電源の国内市場におきましては、震災以降の電力供給不安から太陽光・風力発電などの自然エネルギーや再生エネルギーの活用等、エネルギー効率運用のためのマネジメントシステムなど、省電力化を狙いとする動きが一段と加速してまいりました。

海外市場におきましては、米国経済が緩やかに回復しつつも、ヨーロッパ債務危機問題の長期化によるヨーロッパ経済の停滞が長期化し、総じて先行きの不透明感を払拭できないまま推移いたしました。

このような情勢の中で当社グループは、部門連携を強化しつつ、新製品を軸とした成長業界・企業への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、汎用一般産業機器向けミドルレンジユニット電源「PLAシリーズ」100W/150W追加、大電力・高効率パワーモジュール電源（安定化バスコンバータ）「CHS300」を市場投入いたしました。

開発・生産面では、TQM（総合的品質管理）活動を継続展開し、部品不良および工程内不良の低減に注力するとともに、顧客価値の創造に向けてブランドマネジメント活動を進めてまいりました。また、使用電力削減活動の推進、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）削減等の環境問題にも引き続き取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は52億38百万円（前年同期比21.2%増）、売上高は51億29百万円（同14.3%増）となり、経常利益は8億98百万円（同17.4%増）、当期純利益は5億46百万円（同16.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1) 日本生産販売事業

日本国内では、タブレットPC、スマートフォン等の普及にともなう通信インフラ向けの需要が増加するとともに、省エネルギー機器、医療機器向けの需要が堅調に推移いたしました。

このような情勢の中、成長業界・企業へのデザイン・イン活動の強化と新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、38億90百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は8億71百万円（同25.8%増）となりました。

#### 2) 北米販売事業

アメリカでは、景気指標の改善やNYダウ平均株価が過去最高を更新するなど、景況感は回復傾向にありますが、設備投資の動きははまだ鈍化したままであり、総じて足踏み状態となりました。

このような情勢の中、昨年度に引き続き、新規プロジェクト獲得件数の増加と新規顧客獲得を重点に営業活動を展開し、新製品拡販と新規顧客開拓に注力した効果も一部現れましたが、主要先の受注が低迷したことから、受注高（外貨ベース）は前年同期比で減少いたしました。

この結果、外部顧客への売上高は、5億4百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益は13百万円（同285.1%増）となりました。

#### 3) ヨーロッパ販売事業

ヨーロッパでは、昨年4月以降のギリシャを発端とした金融危機の再燃による景気先行き不透明感から企業景況が冷え込む中、牽引役であるドイツでも先行き不透明感が台頭し景気低迷が予想以上に長引いており、制御機器関連やコンピュータ機器、計測機器関連等の需要が低迷し、低調に推移いたしました。

このような情勢の中、ヨーロッパ市場における販売ネットワークの整備に取り組み、新製品拡販と新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、1億79百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント損失は4百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

4) アジア販売事業

中国では、ヨーロッパ経済低迷等の影響から経済成長が鈍化しておりますが、内需関連の健闘、輸出関連プロジェクトの一部回復もあり、全体的に好調に推移いたしました。また、韓国でも半導体設備関連の需要が回復傾向にあり、明るさが見えてまいりました。インド・ASEAN地域においても、依然としてヨーロッパ経済低迷等の影響がありますが、全般的に堅調に推移しました。

このような情勢の中、現地営業マン・技術者の育成に取り組むとともに、中国、韓国、インドで新規顧客、プロジェクトの獲得活動や新製品拡販活動の効果が現れ、受注高は前年同期比で増加いたしました。

この結果、外部顧客への売上高は、5億53百万円（前年同期比63.1%増）、セグメント利益は28百万円（前年同期比114.4%増）となりました。

5) 中国生産事業

新興国市場をターゲットにしたミドルレンジ電源の中国生産においては、低コスト化技術の開発と生産体制の構築を推し進めてまいりました。新製品PLA100F/150Fの生産・販売も開始し拡販活動にも努めてまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、59百万円（前年同期比267.8%増）、セグメント損失は17百万円（前年同期は、セグメント利益0百万円）となりました。

なお、参考までに記載すると事業部門別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

事業部門	当第1四半期連結会計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)		当第1四半期連結会計期間末 (平成25年8月20日)	
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ユニット電源	3,452	15.3	1,232	8.5
オンボード電源	1,648	35.7	726	34.9
ノイズフィルタ	137	23.1	31	14.6
合計	5,238	21.2	1,989	17.0

2) 売上高

事業部門	当第1四半期連結会計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)	
	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
ユニット電源	3,325	8.8
オンボード電源	1,667	26.4
ノイズフィルタ	136	21.0
合計	5,129	14.3

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億92百万円(0.8%)減少し、377億25百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比17億69百万円(10.8%)増加しました。これは、現金及び預金が84百万円(4.4%)、受取手形及び売掛金が6億68百万円(11.7%)、有価証券が9億98百万円(15.3%)、たな卸資産が88百万円(4.8%)それぞれ増加した一方で、繰延税金資産が99百万円(40.4%)減少したことが主因であります。

固定資産は、前連結会計年度末比20億62百万円(9.6%)減少しました。これは、投資有価証券が20億75百万円(11.7%)減少したことが主因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ3億74百万円(13.8%)減少し、23億38百万円となりました。これは、買掛金が97百万円(12.0%)増加した一方で、未払法人税等が3億53百万円(60.4%)、賞与引当金が1億63百万円(49.6%)それぞれ減少したことが主因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ82百万円(0.2%)増加し、353億87百万円となりました。株主資本は、剰余金の配当3億86百万円がありましたが、四半期純利益の計上により前連結会計年度末比1億59百万円(0.5%)増加しました。また、その他包括利益累計額は、株式の時価評価差額金の減少や為替換算調整により前連結会計年度末比77百万円減少しました。この結果、自己資本比率は93.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績につきましては、平成25年6月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,921,003	2,005,133
受取手形及び売掛金	5,726,417	6,395,063
有価証券	6,508,021	7,506,383
商品及び製品	682,456	633,283
仕掛品	46,835	87,542
原材料及び貯蔵品	1,128,640	1,225,856
繰延税金資産	246,027	146,594
その他	172,875	202,617
貸倒引当金	△6,023	△6,227
流動資産合計	16,426,254	18,196,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,544,646	3,549,927
減価償却累計額	△2,328,186	△2,354,961
建物及び構築物(純額)	1,216,460	1,194,965
機械装置及び運搬具	5,091,820	5,093,430
減価償却累計額	△4,182,960	△4,238,646
機械装置及び運搬具(純額)	908,859	854,783
工具、器具及び備品	4,896,232	4,972,464
減価償却累計額	△4,590,913	△4,616,268
工具、器具及び備品(純額)	305,319	356,195
土地	1,118,800	1,119,440
建設仮勘定	9,237	9,237
有形固定資産合計	3,558,677	3,534,622
無形固定資産		
投資その他の資産	87,711	80,520
投資有価証券	17,724,091	15,648,364
繰延税金資産	174,879	220,809
その他	46,294	45,090
投資その他の資産合計	17,945,265	15,914,264
固定資産合計	21,591,654	19,529,407
資産合計	38,017,909	37,725,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	815,662	913,177
未払金	146,894	141,446
未払法人税等	585,374	231,887
賞与引当金	330,444	166,533
その他	361,926	452,302
流動負債合計	2,240,303	1,905,347
固定負債		
退職給付引当金	266,850	227,354
繰延税金負債	97	—
その他	205,578	205,598
固定負債合計	472,526	432,952
負債合計	2,712,829	2,338,299
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,288,350
利益剰余金	31,170,848	31,330,219
自己株式	△283,620	△283,724
株主資本合計	35,230,578	35,389,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,273	102,626
為替換算調整勘定	△142,785	△109,147
その他の包括利益累計額合計	70,487	△6,521
少数株主持分	4,013	4,034
純資産合計	35,305,079	35,387,357
負債純資産合計	38,017,909	37,725,657



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月21日 至平成24年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月21日 至平成25年8月20日)
売上高	4,489,333	5,129,075
売上原価	3,150,159	3,445,972
売上総利益	1,339,174	1,683,102
販売費及び一般管理費	636,584	797,388
営業利益	702,590	885,713
営業外収益		
受取利息	36,417	31,527
受取配当金	11,030	13,143
為替差益	13,031	—
受取補償金	493	—
その他	1,848	2,845
営業外収益合計	62,821	47,517
営業外費用		
為替差損	—	35,065
自己株式取得費用	208	—
その他	2	50
営業外費用合計	210	35,115
経常利益	765,201	898,115
特別利益		
固定資産売却益	50	—
特別利益合計	50	—
特別損失		
固定資産売却損	232	9
固定資産除却損	1,120	391
特別損失合計	1,352	401
税金等調整前四半期純利益	763,898	897,714
法人税、住民税及び事業税	235,158	237,512
法人税等調整額	60,883	114,044
法人税等合計	296,041	351,557
少数株主損益調整前四半期純利益	467,857	546,156
少数株主損失(△)	△616	△8
四半期純利益	468,474	546,165

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年5月21日 至 平成24年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	467,857	546,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,663	△110,647
為替換算調整勘定	△102,656	33,666
その他の包括利益合計	△60,992	△76,980
四半期包括利益	406,865	469,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,709	469,156
少数株主に係る四半期包括利益	△843	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年5月21日 至 平成24年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,556,488	427,312	166,180	339,351	—	4,489,333	—	4,489,333
セグメント間の 内部売上高	751,711	—	—	—	16,075	767,787	△767,787	—
計	4,308,200	427,312	166,180	339,351	16,075	5,257,121	△767,787	4,489,333
セグメント利益 又は損失(△)	693,016	3,627	△1,955	13,062	543	708,295	△5,705	702,590

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,705千円は、セグメント間の取引消去5,617千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△11,322千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年5月21日 至 平成25年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,890,843	504,671	179,988	553,571	—	5,129,075	—	5,129,075
セグメント間の 内部売上高	936,725	—	—	—	59,116	995,842	△995,842	—
計	4,827,569	504,671	179,988	553,571	59,116	6,124,917	△995,842	5,129,075
セグメント利益 又は損失(△)	871,898	13,969	△4,181	28,003	△17,106	892,583	△6,870	885,713

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,870千円は、セグメント間の取引消去5,537千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△12,407千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。